

【報道関係各位】

2024年3月19日
一般財団法人 日本気象協会

2024年桜開花満開予想（第5回） 開花ラッシュ目前 東京は24日開花か

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、理事長：渡邊 一洋、以下「日本気象協会」）は、全国にある観測地点での桜の開花・満開予想（第5回）を、2024年3月19日（火）に発表します。

開花・満開の傾向

3月に入り、気温は3月半ばまで全国的に平年より低く推移しました。一方、先週末は土日ともに東京都心で最高気温が20℃を超えるなど、春本番の陽気となったところも多くなりました。

このあと、3月22日ごろにかけては寒気の影響を受け、気温は平年より低く推移する見通しです。その後は、3月末まで平年より高く推移する所が多いでしょう。前回（第4回）予想時より、22日ごろにかけての寒の戻りの影響を考慮し、東京の予想日を24日とするなど、各地で予想日を2～3日程度遅い予想へと変更しています。また4月以降、北日本では気温は平年並みに推移する見込みです。そのため桜の花芽は順調に生長し、開花・満開ともに、全国的に平年並みか平年より早いところが多いでしょう。

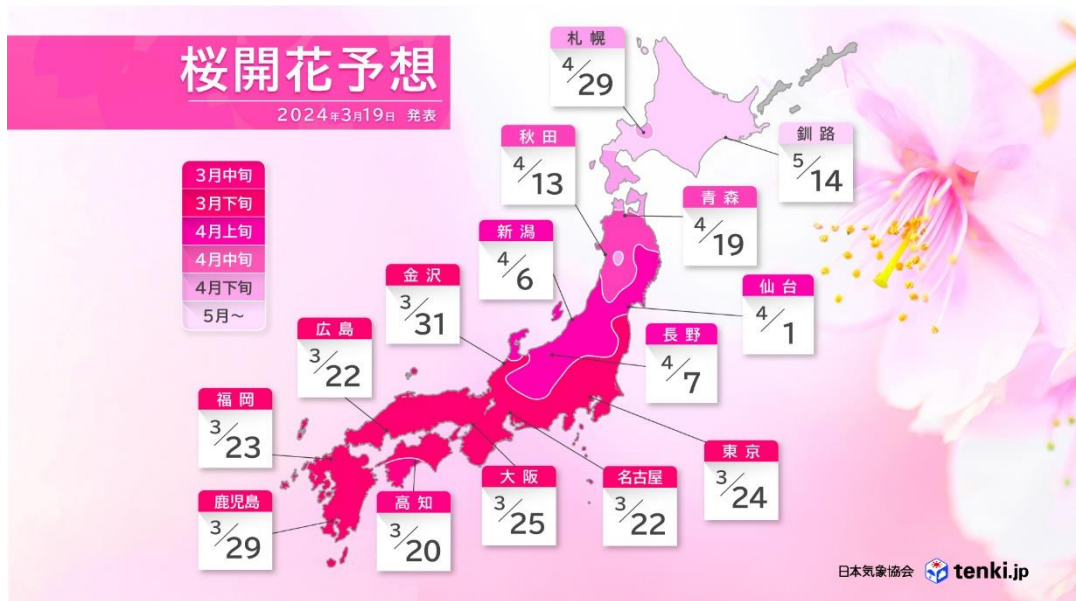
今年の桜の開花は、3月12日に高知県の宿毛からスタートし、16日には愛媛県の宇和島でも開花しました^{※1}。気象台の標本木は、20日に高知で、22日には広島や名古屋などでも開花し、24日には東京や京都などでも開花となるでしょう。3月末までに九州から北陸にかけての広い範囲で開花する見込みです。

※1: 宇和島と宿毛は気象台の標本木ではなく、自治体・公園などの協力機関から観測データを得ている日本気象協会の独自地点です。

4月に入ると、桜前線はさらに北上し、4月1日には仙台で、7日には長野で、19日には青森で開花する見込みです。4月下旬には北海道へ到達し、札幌では29日に開花するでしょう。

また、桜の満開は、3月25日の宇和島からスタートする予想ですが、3月末までに満開となるのは開花の早い一部の地域に限られるでしょう。4月に入ると各地で満開を迎え4月上旬は九州から東北南部にかけての広い範囲で満開ラッシュとなるでしょう。

開花予想前線図



開花・満開予想日(主な地点)

桜 開花・満開予想 2024									
2024年3月19日発表									
地点	開花				満開				
	予想日と平年比	平年開花日	昨年開花日	予想日と平年比	平年満開日	昨年満開日	予想日と平年比	平年満開日	昨年満開日
釧路市	5/14	平年並	5/16	5/1	5/17	平年並	5/19	5/4	
札幌市	4/29	平年並	5/1	4/15	5/1	早い	5/6	4/21	
青森市	4/19	早い	4/22	4/7	4/22	早い	4/26	4/11	
仙台市	4/1	かなり早い	4/8	3/26	4/4	かなり早い	4/13	3/31	
秋田市	4/13	早い	4/17	4/4	4/17	早い	4/22	4/7	
千代田区	3/24	平年並	3/24	3/14	3/30	平年並	3/31	3/22	
長野市	4/7	早い	4/11	3/28	4/12	早い	4/16	4/3	
新潟市	4/6	平年並	4/8	3/27	4/11	平年並	4/13	3/31	
金沢市	3/31	早い	4/3	3/23	4/5	早い	4/8	3/30	
名古屋市	3/22	平年並	3/24	3/17	4/1	平年並	4/2	3/27	
大阪市	3/25	平年並	3/27	3/19	4/2	平年並	4/4	3/27	
広島市	3/22	早い	3/25	3/19	3/31	早い	4/3	3/28	
高知市	3/20	平年並	3/22	3/17	3/30	平年並	3/30	3/24	
福岡市	3/23	平年並	3/22	3/18	4/2	平年並	3/31	3/26	
鹿児島市	3/29	遅い	3/26	3/24	4/8	遅い	4/5	4/5	

※釧路市はエゾヤマザクラの予想

日本気象協会 tenki.jp

桜の花芽の様子

	
<p><u>東京の標本木(3月19日撮影)</u> 東京の開花予想日は3月24日です。 つぼみが膨らみ始め、開花が近づいてきています。</p>	<p><u>名古屋の標本木(3月18日撮影)</u> 名古屋の開花予想日は3月22日です。 ピンク色の花びら部分が見え始め、より開花が近づいています。</p>

全83地点*2の桜の開花・満開予想日は、日本気象協会が運営する天気予報専門メディア『tenki.jp(てんきじえーピー)』桜の開花・満開予想ページ(<https://tenki.jp/sakura/expectation/>)にて公開しています。

※2:3月以降は全国で83地点の予想を発表します。予想地点は、各地気象台が観測する標本木53地点と自治体・公園などの協力機関から観測データを得られる30地点となります。また、満開に関しては全国で76地点の予想を発表します。

【言葉の説明】

平年:1991~2020年の平均値

かなり早い	: 平年よりも7日以上早い
早い	: 平年よりも3日から6日早い
平年並	: 平年との差が2日以内
遅い	: 平年よりも3日から6日遅い
かなり遅い	: 平年よりも7日以上遅い

以上



参考資料

桜開花予想に関するよくあるご質問

Q1:桜開花予想の発表のスケジュールは？

A1:以下の日程を予定しています。1月、2月中は開花予想日のみを発表し、3月以降は開花予想日と満開予想日を発表します。

第1回 1月31日(水)	第2回 2月28日(水)	第3回 3月6日(水)	第4回 3月13日(水)
第5回 3月19日(火)	第6回 3月27日(水)	第7回 4月3日(水)	第8回 4月10日(水)
第9回 4月17日(水)	第10回 4月24日(水)		

Q2:開花日・満開日の基準は？

A2:気象庁の観測基準と同じです。開花日は標本木で5~6輪以上の花が咲いた状態となった最初の日、満開日は標本木で80%以上のつぼみが開いた状態となった最初の日です。

Q3:予想する地点数は？

A3:1月、2月中は49地点、3月以降は全国で83地点の予想を発表します。予想地点は、各地気象台が観測する標本木53地点と自治体・公園などの協力機関から観測データを得られる30地点となります。また、満開に関しては全国で76地点の予想を発表します。

Q4:日本気象協会の桜開花予想の手法・特徴は？

A4:花芽の生育過程に大きな影響を与える「秋以降の気温経過」に重点を置いた、独自の予測式を用いて開花予想を行っています。各地気象台の標本木や公園などの協力機関による正確な観測データを重視した、気象学的根拠に基づいた予想を出しているのが特徴です。

日本気象協会は2007年から桜の開花予想を実施しており、今年で18年目の取り組みです。

Q5:開花予想に使うデータは？

A5:以下データを使用しています。

- ① 前年秋から予想作業日前までの気温観測値
- ② 予想作業日から開花時期までの気温予測値(日本気象協会ポイント予報および長期予報)

桜の開花時期には、前年の秋から春にかけての気温が大きく影響します。桜の花芽は前年の夏に形成され、その後、休眠に入ります。冬になって一定期間の低温にさらされると、花芽は休眠から覚めます(休眠打破)。休眠から覚めた後は、気温の上昇とともに生長し開花しますが、気温が高いほど花芽の生長が早く進み、開花が早まると考えられています。